

鷗 友

東京都立白鷗高等学校同窓会 鷗友会

良樹細根

鷗友会理事長 本間皓司

目次

良樹細根.....

白鷗祭参加報告.....

白鷗62回生進路について.....

今春入試合格状況.....

会費納入について.....

庶務報告.....

物品寄贈.....

会並びに奨学金基金への寄付.....

平成22年度総会.....

先生方の御消息.....

鷗友サロン.....

同期会.....

支部だより.....

行つてきます！

発送手段変更のお知らせ.....

鷗友会のHP(ホームページ)が.....

変わります.....

逝去された方々.....

支部連絡先.....

8 7 6 5 4 3 2 1

何年も前に、ある人から「良樹細根」という言葉を教えられました。良い樹木というのは広くしつかりと根を張っている。それと同じように人間も企業も、社会もしつかりとした根を広く張つていなければ本物ではないということでしょう。作家の廣津和郎氏が高野山に参詣した時、山上に聳える老木がしつかりとした根を広く張つているのを見て、自分は何と根の浅い人生を送つてきたのかと嘆いたといわれます。世に老舗といわれる企業は、代々続く家訓なり社訓なりにしたがつて、しつかりとした経営理念をもつて経営し、その中で人材を育成し、その企業に関連する下請けの職人たちを大切にし、その上で顧客の要望に応えられる仕事をしているのでしょうか。ところが最近はせつかく培つた土壤から安直に根を引き抜いて外国へ移植し、目先の利だけを得ようという風潮にあるのではないか。個人にしても、せつかく縁があつて勤めた企業なのに自分の理想とは違うから、もつと高い給与を得たいから、仕事が辛いからと安易に転職し、簡単に根を引き抜いてしまう。これでは根無し草同然で、何時まで経つてもしつかりと根を張つた大木には育ちません。ウドの大木ばかりの世の中になってしまいます。

風雪に耐え、しつかりとした仕事をしている人は、広くしつかりと張つた根からの養分を吸い上げ、立派なお顔をしています。

鷗友 第153号
平成22年11月25日発行
東京都立白鷗高等学校

鷗友会

〒111-0041

東京都台東区元浅草1-6-22
電話・FAX 03-3844-4284
振替東京00180-7-3052会費用
振替東京00100-8-34659一般用
<http://www.ouyukai.net/>
E-Mail:info@ouyukai.net

印刷 大澤印刷株式会社
白16回 大澤 健次郎

白鷗祭 参加報告

さる9月18・19日の両日白鷗祭(昔の文化祭)が開催されました。本来は資料室として使用していたのですが、鷗友会120周年を明年に控え、鷗友会の存在を広くアピールしようということで、今年は積極的に開放して白鷗祭に参加することにいたしました。

120年の歴史と活動を知らしめるということで、第一高女第1回卒業生の写真パネルから各年度の卒業アルバム、文集、女子旧制服の絵画および実物等の展示を行いました。特に今回は、残念ながら本年5月逝去なされた白鷗6回卒業の写真家、藤井秀樹さんより寄贈された360度家庭写真パネルが展示され、前述の第1回卒業生のものとともに来場者の注目を集めおりました。

理事が交代で接客、旧校舎校長室で使用していた机と椅子に座つていただきことも致しましたが、この椅子には校章と「文」の文字がデザインされています。茶菓も用意して応対しましたが、在校生は勿論のこと、現・旧職員の先生方、入學志望の小学生とその家族、卒業生が家族連れで来訪。両日で約300名程の訪問を受け、対応の理事も説明に大わらわの場面もありました。

以前から鷗友会事務局前に展示していた旧校舎の模型も先輩方には懐旧のよがとなつたようです。この模型の制作者が白鷗38回の田中・長峰(弘)・長峰(章)・鈴木の4君が交代で毎年白鷗祭にはメンテナンスに来てくれており、今年も3人



◇白鷗62回生進路について◇

白15回 大木正樹

進路指導部長 並河 正

今年も去る3月13日、めでたく238名の卒業生を送り出すことができました。ここで簡単に、今春の卒業生の進路について、ご報告致します。

今春の4年制大学への進学率は約73・9%でした。ここ数年で進学率が急上昇しています。大学へは一浪して入学していくのが当たり前で、一浪を「ヒトナミ」と呼んだ20世紀後半の言葉は今や死語になります。大学としては現役進学率が高いことは一概にそう喜んでもおられません。数少なくなった浪人生ですが、今年度は医学部が3名出ており健闘しています。

国公立は現役は15名でした。当初の前

20人位は予測していました。とくに理数系の優秀な生徒がセンター試験の数学で得点を稼いでいくはずだったのが意外と得点出来ずそれが結果的に最後まで尾を引くことになってしまいました。

私立においては、ここ数年の傾向として薬学部を希望する生徒が顕著で今年度も11名の生徒が進学しており、その大半が薬剤師の進路選択をする6年制の道に進んでいます。また、バイオ関連の農学系統を希望する生徒も顕著です。大学別にみると明治大・東京理科大等はここの中進20名前後をキープしております。今後も維持していくものと思われます。

来春は中高一貫の1期生が受験を迎えるがこれまでの白鷗生が培った礎のもとその栄光を引継いでくれることでしょう。

國 公 立	現役	浪人	合計	私立 4年制	現役	浪人	合計	私立 4年制	現役	浪人	合計	
筑波	1	1	2	実践女子	3	3	法政	25	3	28		
埼玉	2	2	芝浦工業	6	2	8	武蔵野大	1	1	2		
千葉	1	1	順天堂	1	1	武藏		1	1			
東京海洋	2	1	3 恵泉女学園大	1	1	明星大	1	3	4			
茨城大	3	3	白百合女子大	1	1	武蔵野美術	1	1	1			
電気通信	1	1	昭和女子	2	2	明治	20	5	25			
東京農工	1	1	高千穂大		1	1	明治学院	9	1	10		
東京外国语大	1	1	多摩大		1	1	明治薬科	1		1		
首都大学東京	2	2	成蹊	1	1	2	立教	8	1	9		
岐阜大	1	1	成城	2	2	立正	5		5			
沖縄県立芸術大	1	1	聖心女子	1	1	早稲田	6	1	7			
合 計	15	3	18 清泉女子	1	1	学習院女子	1		1			
私立 4年制	現役	浪人	合計	専修	3	2	5 麻布大	1		1		
東京福祉大	2	2	創価		2	2	神奈川	2		2		
城西	3	3	大正	5	5	洗足学園音楽大	1		1			
獨協	6	2	8 大東文化	4	4	フェリス女学院	1		1			
文教	4	4	多摩美術大	1	1	金沢学院大	1		1			
文京学院	2	2	東京家政学院大	1	1	同志社		1	1			
自白	2	1	3 中央	10	1	京都産業大	1		1			
日本薬科大	2	2	帝京	8	8	合 計	373	53	426			
川村学園女子大	1	1	東海	9	9	短期 大 学	現役	浪人	合計			
城西国際大	1	1	東京家政	6	1	7 大妻女子	3		3			
千葉工業	13	13	東京經濟大	2	2	共立女子	1		1			
聖徳大	2	2	東京女子	3	3	青山学院女子	2		2			
帝京平成	6	6	東京女子医科大	1	1	自由が丘産能	1		1			
東京情報大	1	1	東京都市大	1	1	日本歯科大東京	1		1			
東京成徳大	1	1	東京工科大	1	1	合 計	8		8			
青山学院	9	1	10 東京電機	15	15	専門 学 校	現役	浪人	合計			
大妻女子	8	8	東京農業	18	1	19 都立広尾看護	2		2			
学習院	6	6	東京理科	15	4	19 都立板橋看護	1		1			
北里	8	1	9 東邦	10	10	聖マリアンナ医科大看護	1		1			
共立女子	1	1	東洋	12	1	13 道灌山保育福祉	1		1			
和洋女子大	3	3	日本	35	7	42 ピュアヒント看護	1		1			
慶應義塾	3	3	日本社会事業	2	2	HAL東京	1		1			
工学院	3	1	4 日本医科大	1	1	NIC	1		1			
國學院	5	3	8 日本女子	3	3	合 計	8		8			
國立館	2	2	2 日本女子体育	2	2							
駒沢	6	2	8 文化女子	1	1							

会費納入について

卒業50年を経た会員は会費が免除されます。今年は昭和35年卒業の白鷗12回以前の方々が該当しますので、白鷗13回～白鷗52回の会員のうち会費未納者にのみ振替用紙を同封しました。

庶務日誌

◇年度会費なら
◇前納会費（十年分）なら壱万五千円
のじぢりかを、同封振替用紙（振込手数
料は会負担）で郵便局からお振込み願い
ます。

☆郵便振替（会費）の口座番号は
00180-7-3052

加入者名 鷗友会 です。

千八百門



庶務日誌	5月22日	理事会 総会準備、	6月25日	理事会 H.Pリリースアル検討	8月9日～20日	事務局 夏休み
7月10日	27日	白鷗祭参加(18・19日)	9月18日	白鷗祭参加(18・19日)	9月18日	会員管理システム改善(9/14)
120周年企画検討	如水会館にて。 理事会 白鷗祭準備	鷗友152号発行 H.Pリリースアル検討	10月1日	校友50周年記念号のコピーと 新H.Pの仮版できる	10月1日	理事退任
白鷗祭参加を急遽決定	平成22年度鷗友会総会	第1回奨学金授与 10名	11月1日	新HPの仮版できる	11月1日	鈴木理事 米国赴任のため 理事退任
白鷗祭準備	如水会館にて。	理事会 総会準備 会報遅配を 受けて発送媒体変更検討	23日	製本できる	28日	力ドリール研究者来室
学校から	(メール便)	(メール便)	第2回奨学金授与	理事会	白鷗祭参加(18・19日)	120周年企画検討
昭和33年製	昭和32年3月卒業記念品	◇物品寄贈◇ (敬称略)	白9回 青木秀久	白9回 青木秀久	白9回 青木秀久	白9回 青木秀久
昭和33年製	男子ベルトバックル	白9回 青木秀久	白9回 青木秀久	白9回 青木秀久	白9回 青木秀久	白9回 青木秀久
昭和33年製	女子制服試用品	白9回 青木秀久	白9回 青木秀久	白9回 青木秀久	白9回 青木秀久	白9回 青木秀久

◇会への寄付（敬称略）
白10回 同期会

平成22年度鷗友会総会

6月27日、一ツ橋の如水会館において平成22年度鷗友会総会が開催されました。雨の心配もなく、総会日和の中70名をこえる方々のご参加をいただきました。

大澤健次郎理事の開会の辞で開幕。

急用で欠席された本間皓司理事長に代わり、土屋雅司副理事長は挨拶の中で、嵐で倒れた鎌倉の大

銀杏に若芽が芽吹き再生への道を歩み始めたニュースを取り上げられました。生命力溢れる大木の姿に鷗友会を重ね、来年迎える120周年を機に若い世代の参加を増やしたいとの言葉に会場全体から大きな拍手が沸き起きました。

続いて顧問の星野喜代美校長の挨拶。

鷗友会への感謝と共に、白鷗高校および付属中学校の現状をお話いただきました。

今年で6年生となる付属中の一期生も真価を問われる年を迎え、進学に重い国際交流や日本文化の理解のための活動についてご報告がありました。付属中に設けられた特別枠の入学生の中に最年少の囲碁プロ棋士がいると紹介され

た時には、会場から感嘆の声が上がりま



91才の岡本武男頴明館
中・高校校長の御発声で
乾杯。美味しい料理に舌
鼓を打ちつつ時を忘れて語り合いました。



本年の催しは、桂 才紫(田中秀樹さん・白45)の落語です。新校舎設立の年に算の説明の後、120周年記念事業へ向けて新体制となつた理事会の紹介があり、拍手をもつて承認され、議事は滞りなく終了致しました。

長が議長となり、平成21年度事業報告、決算報告、平成22年度事業予定並びに予算の説明の後、120周年記念事業へ向けて新体制となつた理事会の紹介があり、拍手をもつて承認され、議事は滞りなく終了致しました。

続いて土屋副理事長が議長となり、平成21年度事業報告、決算報告、平成22年度事業予定並びに予算の説明の後、120周年記念事業へ向けて新体制となつた理事会の紹介があり、拍手をもつて承認され、議事は滞りなく終了致しました。

長が議長となり、平成21年度事業報告、決算報告、平成22年度事業予定並びに予算の説明の後、120周年記念事業へ向けて新体制となつた理事会の紹介があり、拍手をもつて承認され、議事は滞りなく終了致しました。



△先生方の御消息▽

有田ヒロ先生（昭和14年～17年）
府立第一高女時代に勤務し、今年94歳
を迎え、当時を懐しく思い出しています。

岡本武男先生

初めて担任した生徒諸君といまだ交流
があり、小生の宝です。90才を過ぎた昨
年から穎明館中学・高校校長に就任しま
した。

佐藤秀志先生

先日白鷗で初めて教えた生徒さんから
「元気で古稀を迎えるました」との便りあ
り、私も今秋85才になります。
生きて仰ぐ花のトンネル来年も

下田幸男先生

身体がいたんで來たが、畠の中を散策し
たり山歩きをしています。パソコンで本
の予約が出来図書館の利用が増えました。

赤坂憲一先生

上野高校で二年目となり、一年生の担
任をしています。白鷗で卒業した生徒の妹
さんが入学し、縁の深さを感じています。

豊田勝弘先生

麹町学園五年目、今年度で終りにする
予定です。数学の宮崎、高橋先生も一緒に
つとめています。

笠原聰先生

四月から都立神津高校の副校長として
勤務しております。

鷗友サロン

日光、遠い日の追憶

白3回 清水尚子

「これからは自由にやりたい。暇がで
きたからといって、お前と旅に行こうな
どとは思っていない。お前も好きなよう
にすればいい」

これは中学校の数学教師をしていた夫
が、定年退職した時に言つた言葉である。

絶句した私は、まずは家を出た。
そしてなにかある度に黙つて私を包ん
でくれるやさしい山脈の越生から奥武蔵
の黒山三滝へ辿りつき、滝の前に佇むと
私はしだいに自分をとり戻していった。

夫は退職後も週二、三度の数学の授業
に出かけ、政治運動にも深くかかわつて
いて疲労の色が濃くなつていき、わずか
半年後、肝臓癌を発病し、入退院を繰り
返す様になつた。

小康状態を保つていたある時、「今
のうちに、ふたりで旅行に行つたらどう
う?」という息子のことばに促され、夫
も私も珍しくその気になつた。なんとそ
の日のうちに「日光がいい。池袋のツー
リストで扱つているから予約してこい」
などと指示を出す夫。なにはともあれ、
余命いくばくもないと悟つた時、ようや
く私のもとへ帰つてくれたという訳
である。

日光東照宮では、修学旅行の生徒に説

明する先生のように、たつた一人の私に
説明してくれた。

夕刻、ホテルに到着。フロントの宿帳
にペンを走らせる夫の手もとをなにげなく覗くと「なに? 他一名つて!」思わず
聞いたところ、「これでいいのだ」と笑
う。本当に変な人!

——一年半後の三月二十五日未明、夫は
この世を去つた。それは例年、中学校の
卒業式の行われる日だつた。

日光は私にとって、忘れられない場所
になつた。

山深く来て山見えず瀧の音

秋愁や優しさ溢る神馬の目

二〇〇九年九月 美研インターナショナル
「旅ごろ吟じごろ」より 〈編集部注〉

湯島天満宮の扁額

白15回 高木三枝子

天神様は「わらべうた」にも歌われる
菅原道真を祭神とした親しみのある神社

です。文京区の湯島天満宮は関東大震
災、東京大空襲と二回の災禍をも免れた
強運の神社です。

その湯島天満宮大鳥居の扁額を縁あつ
て昨年書かせて頂きました。これまで掛
けられていた「湯島神社」の扁額は百数
十年前、有栖川宮熾仁親王の筆になつた
ものと後で伺い、おそれおおい事と身が
縮む思いでしたが、生涯のよき作品を残
せたと今は感謝でいっぱいです。

白鷗高校で大石先生の御指導を受け、
又、息子二人が通つた湯島小学校では先
生揮毫の校歌の扁額を目にして過ごす等
これも先生との不思議な御縁と思つて
います。

合格祈願などで湯島にお出かけの折は
天満宮の大鳥居に目をとめて頂ければ幸
せです。

「鷗友」ありがとうございました

昭和3年御卒業の木藤綾子様(照山)が
昨年10月に98歳で永眠された御通知を
お嬢様より頂きました。お便りによると



「鷗友」を大変樂しみにされ、大切と書かれ、毎回お読みになつていらっしゃつたとの事。市川源三先生の薰陶を受けた世代の方、ユーモアを解し、自然体で生活され、礼儀はあくまで厳しかつたので「今迄『鷗友』を送つて頂いた御札は申し上げましたか?...とあちらの世界からお小言が來るのではと気がつき母に代わり御札申し上げます。」と御丁寧な文面でした。

36年間俳句を趣味とされ、その御作が同封されておりましたので、中より三句ほど御披露させて頂きます。

袖引くは誰そと見返る花茨
馬子唄を風と聞きゐる夕端居
この鉄路雪の故郷へひた走る

(編集部)

同期会

34年振りの高校生

白28回 高橋節子

7月3日、梅雨真っ只中、それでも雨にはならず、卒業34年にして初めての同期会が行われました。石井武夫、太田實、影山美知子、杉山英昭、高橋哲夫、吉野博司の先生をお迎えして、総勢135名の同期会となりました。

34年間一度も顔を合わせなかつた旧友もいれば、よく酒を酌み交わす仲間達もいて、最初会場に入る時はみな緊張の面



持のようでしたが、ひとたび声を交わした瞬間から空白の刻ははるかかなに押しやられ、白鷗生に戻つて話に花が咲きました。

又、アルバム各ページをパソコンに取り込み、映し出してくれた友のおかげで、50才を過ぎた頭の中の記憶がしだいに鮮明によりみがえり、懐しい時を過ごすことが出来ました。

3時間あまりの楽しい時の後に記念写真を撮りましたが、大の大人でもこれだけの人数になるとなかなかまとまらず、太田先生の「喝!」が飛んでしまいました。高校の時と同じ!最後まで楽しい会となりました。

影山先生の御指名で、次回の幹事も決まり、再会が期待されます。

いちろ会の解散

白2回 松本喜美子

昭和十九年四月、あこがれの都立第一高等女学校へ入学。一年ろ組(当時は、い・ろ・は・に・ほの五組)約四十名の少女達の交流が始まつた。太平洋戦争のさ中で、翌年の東京大空襲では何人かの級友が犠牲になり、学徒動員に伴う長野県への疎開、敗戦、学制改革による新制高校への転換とともに波乱万丈の中学・高校時代だつた。

当時の通学簿には時々「食料事情のため臨時休校」という記載があるがお弁当名の同期会となりました。

34年間一度も顔を合わせなかつた旧友もいれば、よく酒を酌み交わす仲間達もいて、最初会場に入る時はみな緊張の面

大野先生を囲む会に

参加させて頂いて

白25回 三澤敏宏

昭和45年1年1組のクラス担任をして頂いた大野先生が今年喜寿を迎えられ、そのお祝いを兼ねた同級会が去る10月23日、上野「東天紅」で開催されました。私は、他クラスの生徒でしたが、旧1年1組のメンバーの方とは在学時代に親しくさせて頂いた事もあって、1年1組のクラス会にお誘い頂き、過去何回か出

助け合う友情は深まつていつた。物質的には全く恵まれなかつたあの頃だが、努力すれば明日は今日よりよくなれるという希望を持てたのは現在の若者よし幸せだつたのだろうか。

それから何十年も過ぎ、「一年ろ組の会」を作ろうという声が起きて、二年一度銀座に集つては尽きぬ話題に年齢を忘れて盛り上つた。ところが数年前から本人や家族の病気、介護等で欠席者がふえ、五月に行なわれた今年の会は七人の出席、そして次回幹事をつとめる体力的自信が誰にも無く残念ながら会は解散と定まつた。

どんな時代に生まれ合わせるかは誰も自分では選べない。巡り合えた幸せと支え合つた六十六年間の友情に感謝しつゝ名残りは尽きなかつた。

お互にこれから日々が平安であることを願いつゝ、銀座の街角で何度も手を振つて別れた。

席させて頂きました。

その後は大変ご無沙汰し、皆さんとはなかなかお会いする機会も無く過ごして参りましたが、本年9月白鷗高校同窓生

である加茂 隆君が他界され、葬儀が荒川区の町屋斎場で営まれました。斎場で

荒井 進ご夫婦と久しぶりに再開しました。進ご夫婦と久しぶりに再開しました。

加茂君と私は高校が同窓で有るばかりでなく、中学も同窓で一緒に白鷗に進学した仲間でした。更に、大学卒業後はなんと同じ会社に勤め、会社でも同期生という間柄でした。

その為、彼の訃報を受けた時は本当にショックを受け、呆然と致しました。葬儀には、会社同僚・同期が多数参列しましたが、白鷗時代の仲間もきつと参列しているだろうと思いつつ、随分とご無沙汰していることから、顔と名前が思い出せず、誰が来ているのかよく分からぬという有様でした。

そのような中で荒井ご夫婦から声をかけられ非常に懐かしく、また、その場で大野先生の喜寿お祝いの話を伺い、喜んで出席させて頂くことになりました。クラス会当日は、本当にお久し振りに大野先生にお目にかかり、お元気でかくしゃくたるお姿に感激致しました。

卒業後初めて再会する方も多く、最初は又、1年1組のメンバーの方とは恐らくごちこなさもありましたが、少しづつ昔の記憶も蘇り、本当に楽しいひと時を過ごさせて頂きました。

幹事の方々、並びにお声を掛けて頂いた荒井ご夫婦ありがとうございました。

東葛支部

平成22年7月25日(日)、三井ガーデン

ホテル柏にて、鷗友会員の集いを開催。外は柏まつりの喧騒と、梅雨明け直後の猛暑のなか、17名の出席をみました。

お楽しみタイムで、お稽古事の発表を募ったところ、手品、朗読、独唱、語りなど、会員の日頃の成果が披露されました。又、アンケートで、「あなたの好きなお伽話を選んでください(複数)」とした結果、「鶴の恩返し」が12票を得てトップ、ついで「笠地藏」「わらしべ長者」の順でした。次回はぜひ、あなたも御参加ください。

白17回 中野愛彦



支部だより

白50回 鈴木敬紀

この度、会社の都合でアメリカに赴任することになりました。場所はオレゴン州ポートランドです。

ポートランドはバラの都と言われております。日本の富士山のようなMt. Hoodという山があり美しい景色が楽しめる穏やかな町です。

また、治安もアメリカの中では最も安全な場所と言われており、日本からの修学旅行生や留学生が大勢来る場所です。

しかし、海外赴任というめったにない機会ですので、帰任後にはこの経験を生かして、また鷗友会に貢献できればと思います。

それでは、行つてきます！



発送手段変更のお知らせ

【鷗友】151号の不着、152号の遅配

では皆様にご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

二号続いた事態を重く見て、今回は郵便からクロネコメール便(ヤマト運輸株)に発送手段を変更いたしました。

今後も、皆様のお手元に確実に届くよう、様子を見ながら対応していきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

今はちょうどハロウィンの季節で、町のあちこちにハロウィンの飾りが並んでいます。ジャックオーランタン(オレンジ色のかぼちゃのお化け)を作るためのかぼちゃもスーパーにならんでいます。

鷗友会のHP（ホームページ）
が変わります

【鷗友】153号をお読みなられたらお持ちのパソコンで<http://www.ouyukai.net/>をアクセスして見ませんか。新しい鷗友会のHPが出現する筈です。現校舎の写真が貼られた新しいトップページから、従来のHPと同様に鷗友会の概要や出身諸氏のお名前と業績、鷗友会からのお知らせ等の他に、新旧の校歌と応援歌の楽譜もあり、ピアノでの演奏がお聞きになれます。これ以外にも、卒業生で住所がわからなくなくなつてしまつた方のお名前や、過去3回分の会報誌『鷗友』などがご覧になれ、以前よりも明るく軽やかな感じを実感いただけると思います。

今までのHPは10年前に学校のHPの作成にあたり、白鷗高校後援会のご好意で鷗友会のHPも作つていただき、それ以来運用しております。平成13年8月からは、鷗友会自身のeメールアドレスも設定し、会員の皆様とのコミュニケーションもネット上で可能な形となりました。

HP開設以来、東京都から派遣されていたIT援助のための職員の方のアドバイスやサポートを頼いて運営していたのですが、平成19年にHPが設置される、るPCサーバーが外部へ運用委託され、東京都から派遣されていた職員の方も離任して、管理が明確でないまま、3年が経過してしまいました。学校側でもこの事態を好ましくないとして、今年度に新たにHPを新設しました。鷗友会でも理事会でこの状況をどうするかを検討して

今までのHPは10年前に学校のHPの作成にあたり、白鷗高校後援会のご好意

も設定し、会員の皆様とのコミュニケーションもネット上で可能な形となりました。H.P開設以来、東京都から派遣されていたIT援助のための職員の方のアドバイスやサポートを頼って運営していたのですが、平成19年にH.Pが設置されてい

そのためにも、皆様の新HPへのご意見・ご要望をお聞きし、反映していきますので、どんどんご意見をお寄せください。まだ、充分に完成してはいないと思いますが、1日も早く役立つHPについてます。ご協力ください。

白17回

〈支部連絡先〉

北海道 57回 计 荣子

撫 玉 自 7 回 野 村 路 子

東葛自17回由野愛彦

川崎白9回板木久悦

湘南白7回 杉本早苗
(平成21-22年)

東海自12回　金皇綉子

關 西 50回 國 東 歌 子

まいりましたが、来年の鷗友会創立120周年の事業の一環として、新しいHPを開設することにいたしました。運用の委託先も会報の発送業務を長年お願いしております株式会社イーアートエス社にお願いし、運営状況の確認が隨時行えるようになります。

この新HPの開設に伴い、鷗友会へのメールも新しいinfo@ouyukai.netとなりました。

今後はこの新HPをベースにして会員



左記の方々の御冥福を
謹んでお祈り申し上げます

58 58 58 57 56 56 55 55 55 55 54 54 53 53 53 53 52 52 52 52 51 50 50 50 49 49
はろいはろろほほはいろいほにははいほにはろいはにににに
八三今杉田近有小浜比朏江松北田田伊堀一宇瀬福渡邊秀村千代子登代子
星樹井田中田馬澤本留間知か八香香家百合子房子
桂良紀悦仁子千惠好桃千鶴フミ与一ね重静貞代昌寿子良枝富子
子良子紀悦仁子千惠好桃千鶴フミ与一ね重静貞代昌寿子良枝富子
22 22 22 22 22 21 21 15 21 19 21 22 21 22 22 22 22 22 21 21 21 19 21 22 17 15 22 21 21 22
.
6 8 4 10 12 11 11 12 12 8 6 10 8 3 4 5 2 12 12 3 12 8 1 8 11 7 12 6 3
.
1 8 6 10 9 14 11 27 15 24 26 11 21 9 16 4 16 5 14 28 2 26 6 29 17 7 2 15

高高白白白白白白白白白白白白白白白白白白白白白白白白
 13 11 31 30 28 28 25 18 11 10 10 10 8 8 8 7 7 7 7 6 6 6 5 62 60 四 59 59 59
 2 4 8 8 5 1 5 7 4 3 6 6 1 8 6 4 2 7 6 4 1 は修はろい
 上戸染町高杉加黒前青宮稻星小川町今城水松山千田
 村島谷田橋茂部田柳崎井野元島井戸戸川尾原中岡
 千 紀 千 紀 千 紀 千 紀 千 紀 千 紀 千 紀 千 紀 千 紀 千 紀 千 紀 千 紀
 照代桂礼英 静正孝紀玲 隆枝一正君子鶴広義雄博正紀美道よ慶子
 子子晃一子人隆江勝行子子享市子郎志子雄雄正子子子子子子
 22 21 22 17 22 22 22 22 21 22 22 19 22 22 22 21 22 22 21 20 22 22 22 22 21 22 22
 9 11 5 3 5 9 3 2 12 2 4 12 4 7 1 8 3 4 9 12 1 5 6 1 1 3 6
 25 12 15 6 18 18 9 4 10 18 30 24 14 11 31 19 25 25 29 20 5 20 2 29 25